

2020年3月26日発表

報道関係者各位

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

JPRS が『JP ドメイン名レジストリレポート 2019』を公開
- JP ドメイン名の登録数は 157 万件、ISO27001 の認証取得など -

株式会社日本レジストリサービス（以下 JPRS、本社：東京都千代田区、代表取締役社長 東田幸樹）は、本日、JP ドメイン名の登録管理業務に関する 2019 年の年次報告書、『JP ドメイン名レジストリレポート 2019』を公開しました。

- ・ JP ドメイン名レジストリレポート 2019 (PDF)
<https://jprs.co.jp/doc/report/registry-report-2019.pdf>



本レポートは、インターネット社会の基盤を支える高い公益性と競争力が必要とされるドメイン名の登録管理業務について、JP ドメイン名のレジストリ（登録管理組織）である JPRS が、その活動内容を広く一般に公開することがインターネットの一層の健全な発展に資することになるとの考えに基づき、2004 年より毎年公開しているものです。

JP ドメイン名全体の登録数は、2020 年 1 月 1 日付で 1,576,407 件となり、2019 年 1 月 1 日時点と比較して 25,050 件の増加となりました。

JPRS は、JP ドメイン名登録管理業務を含むサービス全体のコンセプトとして掲げる四つの柱である「信頼性」「安定性」「利便性」「経済性」について、それぞれのバランスを適切に保ちながら、それらをより高度なものにすることに努めています。2019 年も、サービスの更

なる改善はもちろん、国内外での各種会合への参加や、ドメイン名や DNS に関する情報発信などインターネットの安定運用のための活動を継続すると共に、以下を始めとする取り組みを行いました。

【2019 年の主な取り組み】

- ・情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格である ISO27001 の認証取得（ドメインレジストリ事業）
- ・登録情報の確認に関する規則の整備などサービスの改善
- ・JP ドメイン名登録者の意図しないドメイン名移転防止のための取り組み
- ・登録要件を満たさない者による JP ドメイン名の不正な登録など不正登録防止のための取り組み
- ・ICANN の各種活動への参画及び第 64 回 ICANN 会合におけるローカルホスト委員会の一員としての開催運営支援
- ・インターネットの仕組みについて学べる小冊子や ccTLD を楽しく学べるポスターの全国教育機関への無償配布活動
- ・緊急対応度の高い深刻な DNS ソフトウェアの脆弱性に関する注意喚起などインターネット基盤への信頼や安定に関する取り組み

JPRS は、今後もネットワークの基盤を支える企業として、インターネットの発展に寄与し、人と社会の豊かな未来を築くことに貢献するため、よりよいサービスの提供に努めてまいります。

■株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

<https://jprs.co.jp/>

ドメイン名の登録管理とドメインネームシステム (DNS) の運用を中心としたサービスを行う会社。2000 年 12 月 26 日設立。JPRS はネットワークの基盤を支える企業として、インターネットの発展に寄与し、人と社会の豊かな未来を築くことに貢献することを企業理念として活動しています。

■参考 URL

1. 『JP ドメイン名レジストリレポート 2019』公開のお知らせ
<https://jprs.jp/whatsnew/notice/2020/20200326-registry-report.html>
(2020 年 3 月 26 日公開)

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社日本レジストリサービス (JPRS) 広報宣伝室

TEL: 03-5215-8451 FAX: 03-5215-8452

E-mail: press@jprs.co.jp

<https://jprs.co.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-8-1 千代田ファーストビル東館 13 階
